

平成29年度通学路安全点検結果一覧表

学校名	番号	箇所			状況(現在の危険な状況)	点検結果		
		道路種別	路線名	場所		合同安全点検実施日	点検結果及び対策	対策者
大野小学校	大野小①	市道	上大利・白木原線	白木原2丁目1番付近	JR大野城駅からファミリーマートを通過し、中央コミュニティへ左折する道は、カーブが多く、見通しが悪い。また、車や通学の自転車の交通量が多いが、歩道がとてもせまいので危険である。	H30.1.30	道路沿いの建物の状況等を考慮すると歩道の拡張等の対策を採ることは難しい。 通学路を再度確認のうえ、PTAとも協議し、通学経路について、検討するとともに子どもたちへの安全指導を徹底する。	学校
	大野小②	市道	瓦田2646号線	瓦田2丁目11～12番付近	春日原5号踏切に抜ける道であるため、道幅は狭いが交通量が多い。曲がり角は住宅の塀があり、見通しが悪く、通学路と交差しているため登校中の子どもにとって危険である。	H30.1.30	路面表示が歩道、車道ともに薄くなっていることから、表示をなおすことにより、児童、運転者ともに注意を促す。(路面表示の引き直し、歩道の注意表示の貼り直し)	市道路管理者
大野北小学校	大野北小①	市道	錦町2301号線 雑餉隈・春町線	雑餉隈町3丁目6番付近	見通しが悪く、車がスピードを出しやすいため、車同士の事故も多い。	H30.2.5	通学時間帯(7:30～8:00頃)の立番による速度超過等の運転者への警戒、取り締まりを検討する。 歩行者注意の路面表示、一時停止線などが薄くなっていることから、引き直しを行うことにより、運転者に注意を促す。	警察 市道路管理者
	大野北小②	市道	雑餉隈町2104号線 雑餉隈町2103号線	雑餉隈町5丁目2番付近	見通しが悪く、車がスピードを出しやすいため、車同士の事故も多い。	H30.2.5	当該地域の通学経路についてPTA地区委員と協議を行い、どこの交差点を通すかを定める必要がある。 学校の通学路の再検討に応じて、通学路となる交差点について、交差点のカラー化、歩道のグリーンベルト、横断歩道の新設等の対策を検討する。	学校 警察 市道路管理者
大野東小学校	大野東小①	市道	筒井・乙金線	大池2丁目2番付近	東コミュニティセンター前を横断しようとする児童と車との事故が心配される。	H30.1.30	コミュニティセンター前に横断歩道を設置することは、逆に車との接点を増やすことになるため、危険性が増すおそれがある。近くの交差点についても、建物からの車の出入り口と重なるため、信号機や横断歩道の設置は難しい。通りの両端にある信号から横断するよう児童への安全指導を徹底する。	学校
御笠の森小学校	御笠の森小①	市道	仲畑公園通線 仲畑0236号線	仲畑3丁目9番付近	登下校時には、多くの児童が利用する横断歩道だが、信号機がないうえ、車の通りが多く、カーブになっていて視界が悪い。	H30.2.5	交通量から信号の設置は難しいが、横断歩道の引き直しを行う。	市道路管理者
	御笠の森小②	市道	山田・中線	山田3丁目3番付近	歩道が狭く、歩きにくい。 大型車の往来も多い。	H30.2.5	マンション側に路側帯を設けて、グリーンベルト塗装を行い、わかりやすくする。	市道路管理者
	御笠の森小③	市道	仲畑公園通線	仲畑2丁目8番付近	子どもが道路を横切って渡るのを見かける。子どもが飛び出す危険がある。	H30.2.5	近くの信号や横断歩道にきちんとまわってから渡るように子どもたちへ学校での安全指導を徹底する。	学校
	御笠の森小④	市道	仲畑公園通線	仲畑1丁目34番付近	トラックなどの通りが多く横断歩道がない道路を横断して登下校しているため、大変危険。	H30.2.5	区画線が薄くなっているため、引き直しを行う。 地域との調整が必要だが、横断歩道の設置について検討する。	市道路管理者 警察

平成29年度通学路安全点検結果一覧表

学校名	番号	箇所			状況(現在の危険な状況)	点検結果		
		道路種別	路線名	場所		合同安全点検実施日	点検結果及び対策	対策者
御笠の森小学校	御笠の森小⑤	県道	水城・下臼井線	御笠川4丁目3番付近	交通量が多く、横断する子どもと車が接近しすぎるので注意が必要。大型車両が通る時は大変危険。	H30.2.5	交通量が多く、車が交差点の角の縁石を踏んでいる跡も見られるため、ポストコーン及び歩道部分に車止めの設置を行う。	県道路管理者
	御笠の森小⑥	市道	山田0742号線	山田2丁目7番付近	抜け道になっており、車の往来が多い。点滅信号はあるが、一旦停止をしない車・バイクがいる。	H30.2.5	現在設置している点滅信号を撤去し、発光式の一時停止標識に変更することを検討する。 「止まれ」の路面表示が薄くなっているため、路面表示の引き直し、交差点のカラー化(点滅信号撤去後)を行い、運転者に注意を促す。	警察 市道路管理者
	御笠の森小⑦	県道	福岡・早良・大野城線	山田3丁目8番付近	歩車分離後、歩行者のみが『青』のときに車用信号の『赤』を見ずに飛び出す車が多い。歩行者が『青』の間に(縦と横)両方の横断歩道を渡ってしまおうとする人が多く、その場合、『青』の時間が短いため走って渡ることになり、危険。また、斜め横断する人もいる。	H30.2.5	交差点をクロスすることは、車の流れ等を考えると難しい。歩車分離信号の場合、自動車が誤って進んでしまう場合もあるため、信号が変わっても車がこないことをきちんと確認して横断するように安全指導を徹底する。	学校
	御笠の森小⑧	市道	仲畑公園通線 仲畑0261号線	仲畑4丁目22番付近	子どもが道路を横切って渡るのを見かける。道路がカーブしているの見通しにくく、信号待ちで停車している車の間から子どもが飛び出す危険がある。	H30.2.5	信号が近いので、そこから渡るようにすること、また、渋滞時の車の間からの飛び出しについても絶対に行わないように指導を徹底する。	学校
月の浦小学校	月の浦小①	市道	平野台中央通線 平野台4210号線	平野台2丁目11番付近	坂道の側道からバス通りに入る箇所の見通しが悪い。自転車や自動車の飛び出しがあり、大変危険である。	H30.1.30	地域からもすでに要望があっており、一時停止の規制をかける方向で検討を行っている。	警察
	月の浦小②	市道	牛頸4366号線 平野・月の浦線	牛頸1丁目3番付近	抜け道として利用する車が多いが、信号等の設置がない。坂道なので、かなりの速度を出した車が、ほとんど一時停止を守らない。	H30.1.30	すでに一時停止の規制をかけていることから、運転者への取り締まりの実施を検討する。 子どもたちへの注意喚起として横断歩道前にステッカーの貼り付けを行うよう検討する。	警察 市道路管理者
	月の浦小③	市道	月の浦3949号線 畑ヶ坂3720号線	月の浦1丁目11番付近	変則的な交差点で、坂道も交差し、公園もあり、子どもの通行も多く出会い頭の事故の危険性が高い。	H30.1.30	変則の交差点であるため、規制のかけ方が難しい。効果的な一時停止線の引き方について検討する。 警察の規制のかけ方に合わせて、ドット、クロスマーク等の表示を引き直す。貯水池沿いの樹木が見通しを悪くしているため管理者に伐採を依頼する。	警察 市道路管理者